

## 第2回 金沢競馬経営評価委員会 議事録

日時：平成21年11月16日（月）10：00～

場所：石川県庁 行政庁舎11階 1109会議室

（資料1，2説明後）

委員 私から見るとかなりご努力されていると思います。頑張っていてそれは素晴らしい事と思っている。こんな不況の中で、売得金の中身が変わってきて難しいと思う。今年度、あと数回、何日か残っていますが、収支・収益の見通しがある程度あるのか？現段階では収益の中身が変わってきて難しい面があると思うが教えてほしい。

事務局 私どもでも県議会の委員会等で収支状況はどうかというご質問があります。これについては、昨年秋以降の景気後退で大変苦しい状況が続いており、その上で今後の景気回復の動向が見通せないという厳しい経営環境ある。

また開催回数で4回、通算16日間残っておることと、例年年末年始多くの方に来場いただきますが、単価が上がるかなという期待がありますが、天候に左右されることもあり、また1月～3月の冬期場外が3ヶ月つづきますが今後どうなるかもあり、下落を続ける単価が、どうなるか、今の段階で数字を持ってお答えするのは難しいということをご理解いただきたい。また一方で経費削減もあわせてやって、総合的に経営改善に努めたい。

委員 厳しい中で、民間企業の業績と比べても頑張っているという印象を持つ。まだまだ競馬ファンの根強い部分があると思う、競馬の人気は捨てた物じゃないと思う。私共が前回に申したように、他場発売・ネットの売り上げが苦しい中で上がっている。他場発売が頭打ちになっているという話がありましたが、頭打ちの印象がどこにあるのか。まだ数字に現れていないのか。

事務局 他場でもやはり財布のひもが厳しくなっているという印象がある。他場でもやはり購入単価が下がっているという状況にある。対前年度で単価が如実に下がっている、資料1の2は伸びているが伸び悩みという状況にある。

委員 年度の見通しが不確定予測で読みにくいのは理解できるが、今の実績として、例

えば上期の実績として収支をどこまでつかまれているか？

事務局 歳入の見込みをたてながら歳出の計画をたてるため、単価の下落の見通しがたたないことで、歳出についても見通せない。

今予算の範囲内で収めることができればと思っている

金沢市 金沢市でも年間12日間終了しており、当初予算は収支均衡となっているが、現在歳入としては若干上回る予定だが、払戻金も増えますし、馬の頭数増による報償費の増もある、県負担金などありはつきりいえないが、収支均衡でいければと思っている。

委員 特に経費が増える要素はないのか。

事務局（市） インターネットが増えれば、ネット会社への使用料の増がありますし、収入増による払戻金の増も当然ある。

委員 売得額で17～19年までは右肩下がり、肝心の自場開催の金沢競馬は右肩下がり。金沢競馬が存続するためには右肩上がりになってくれないといけない。昨秋来のリーマンブラザースの影響もあって、このまま推移すると来年度も懸念される状況。金沢競馬の存続に不安があると思うが、下げ止まりはどうか？

事務局 そのこのところが単価が下げ止まるかつかみきれないというのが実態である。

また歳出をどれだけ下げられるか、また多くの方に来場いただけるよう振興策をどれだけ打てるかだと思っている。

委員 今年9月1日の北國新聞の夕刊を見ていたら、高知競馬がナイター設備をして、赤字が出たら廃止という記事が載っていましたが、ナイター開催のその後の進展について何かご存じか。

事務局 印象となるが、高知ナイターについては、最後のホームランをねらうものと聞いている。たしかにインターネットでは延びているようだ。これがまだ1年たっておらず、情報収集に努めてまいりたい。

委員 ナイターの結果はでていないのか

事務局 地全教からでは、当初見込の効果は出ていないと聞いている。

委員 全国の競馬主催者の問題と思うが、在宅については、ネット会社に10%以上もっていかれている。委託料が高すぎるのではないか？

事務局 委託料が大変高いということで、当方も全国の主催者も同じ認識であり、利用率の削減にむけ交渉してまいりたい。

(資料3説明後)

委員 快適な環境作りで、悪天候対策の取り組み中となっているがどういう状況なのか？

また、厩務員等の生活保障をする事を考えるべき。この項目が実施済みとなっているが、どういう事を実施したのか？

事務局 悪天候対策としてスタンド出入り口にエアーカーテンをつけた。

事務局 厩務員等の生活保障については、厩務員だけでなくきゅう舎関係者のモチベーション維持のため賞金手当のキープを行っている。

委員 悪天候対策は2重丸ではないのか？

事務局 全体としてはまだまだ寒いということで、まだ課題も残っているということである。

委員 ミニ場外が前回の委員会にも話がでたのに、未着手となっており、寂しく思う。全体の収益を増やすためにも検討しなくてはいけない。愛知の実績の見極めを待つのではなく、他で行っている実績・状況を調べられるはず。お金をかけず簡単な施設を作ればどうか？その辺を早く着手して欲しい。また他場との連携の強化・発売の拡大の余地がまだあるのか？

事務局 ミニ場外につきましては、確かに提言にもあり、計画にもある。資料収集分析を行っているが、懸念としては、本場から移行するファンがどれくらいかとの見込みがあるし、インターネットで行うという方も増えていることで今後見極めをしていきたいと思っている。

事務局 他場発売については、開催日程のかぶっていないときは売ってもらっている状況で頭打ちの感はある。また各場ごとの売り上げが下がっており、今後は開催がかぶらないように他場に曜日をずらしてもらう交渉を現在行っている状況にある。

委員 ミニ場外については、数年前から取り組んで欲しいと思っていた。インターネットの発売はかなり影響がある。それを検証しながらやる事が大事だと思う。全体的な競馬人口の増加を図りながら、PRし、本場にも来て欲しい。インターネットも活用し、場外もあればマイナス要素にもならない。それらを迅速に進めていただきたい。その他、反省すべき点・振興策などあるか？

事務局 反省点は多くあると思う。タレントステージは行なったが馬券を買っていただく仕組みが弱いと思っている。

またタレントがステージだけでなく、競馬教室の実施など馬券購入のパッケージ作りが必要と思っている。

またに団塊の世代向けに11月22日には「いい夫婦の日」にちなんで、特別観覧席のご招待会なども実施する予定である。

委員 100年に1度の不況の中で、がんばっている。入場者は横ばい。インターネットも延びている。景気が回復すればいい方向につながると思う。

委員 関係者には更なる努力をお願いしたい。ただ景気後退の影響は大きいのだと思う。金沢競馬だけでなく公営競技全般が落ち込んでいる。パチンコや飲食業界もあえており、日本のみならず世界的傾向だが、嵐の中の状況と思う。

3年前の提言では、3年間様子を見ようとしたが、その当時想定した経済状況とは更なる悪化をしている。一変しているといっていると思う。

19,20年度は収支は相当程度右肩上がり推移し概ね妥当であると思う。

21年度については、景気の回復が見えず、不確定要素もあり、必ずしも好転するとは言い難い。

検討委員会提言では、期限までに判断することが難しい場合、翌年度の検証結果を待って判断することもやむを得ないとある。厳しい経営状況に加え、景気後退による想定時の社会経済状況の変化があり、一定の判断を出すのは、もう一年も2年もみないと難しい状況ではないかと思う。

委員 それでは今後のとりまとめのための確認をしたいと思う。

リーマンブラザースに見られる景気後退以前の、19,20年度については経営改善の結果が見えたとして、良かったとしてよいと思う。19,20年度は人件費、開催経費の削減等良くやっており効果が出た。市も20年度は黒字になって良かったと思う。

その後の振興策の取り組み状況については、概ね良く取り込まれているが、中にはまだ取り組みが残っているものがある。中長期についてはどうしても未着手があり、実施にむけて検討していただきたいと思う。

21年度については急激な社会情勢の変化、予想を上回る購買力の下落に直面した。経営改善に向けて、世の中の状況が変わってくる可能性もあり、現段階で見通しを立てるのが難しく、今結論をだすのは早いのではないかと思われる。

経営改善計画3カ年の全体評価については19,20年度は良い。

21年度は、昨年秋以降の景気の悪化で、見通しが立てにくく、今結論を出すのは早い。

前回の検討委員会の提言では、期限までに見極めが困難な場合、翌年度の結果をもって判断することもやむを得ないとあるので、今年度中に金沢競馬の将来見通しに一定の判断を下すのはやや困難である。今年度および来年度の状況を見極めて引き続き検討していくという方向性でとりまとめすることによろしいか。

委員 よい

委員 それでは、そういう方向性でとりまとめしていきたいと思う。